

2025年度 緊急時対応能力維持・向上への取組み①（運転員の能力向上）

1

- ✓ 当社では、発電所の重大事故対策要員の対応能力向上を図るため、所員、協力会社要員の役割に応じた教育、訓練を充実・強化しています。
- ✓ 「運転員の能力向上」の観点では、事故時の対応能力を高めるため、シビアアクシデント時のプラント挙動を再現できるMAAPコード※を用いて、運転員の緊急時対応能力の向上を図っています。

※MAAP（Modular Accident Analysis Program）。米国電力研究所（EPRI）が所有するシビアアクシデントの挙動を模擬できる総合解析コード。

【教育訓練の内容】

・知識面の向上に向けた教育

シビアアクシデント時のプラント挙動に関する、動画教材を併用した教育など

・技能面の向上に向けた対応訓練

大型表示パネルを備えたシミュレータを用いた対応訓練など

【訓練により向上を図る主な知識・技能】

- 炉心損傷判断
- 炉心損傷後の対応操作
- 対応操作実施によるパラメータ挙動
- 対応操作の効果検証

【実績】

全ての発電所の当直員が、株式会社原子力発電訓練センター（NTC）において、シビアアクシデント訓練強化コースを受講
（2025年3月～2025年12月末：299名）



シミュレータを用いた訓練の様子